

## NPO エコライフはままつの皆さまへ

私はマラウイのンジェワという地区で、表現芸術科目指導のアシスタントとして活動している、永井美郷と申します。この度は、私たちのために鍵盤ハーモニカを寄贈していただき、ありがとうございます。先月下旬にこちらに届きました。同地区に鍵盤ハーモニカが寄贈されるのは初めてのことなので、同僚はとても嬉しそうにしています。そのお礼を兼ねて、報告させていただきます。

### 【マラウイとンジェワ地区の紹介】

アフリカ南東部にあるマラウイは、周りをモザンビーク、タンザニア、ザンビアに囲まれた小さな内陸国です。国土の約 5 分の 1 を湖が占めており、雨期になると主食のメイズがぐんぐん伸びて景色が緑一色になります。電気や水道の普及率は都市部と農村部、富裕層と貧困層で差があります。電気や水道が通っていても停電や断水が多いため、毎日電気や水が使えるとは限りません。

私が活動しているンジェワ地区は、首都リロングウェから西へ約 15km のところにある村です。コンクリートで舗装されていない道路がほとんどのため、雨期には道がぬかるんだり大きな水たまりができたりして、裸足で通学する子どもたちの障害になっています。国民の 8 割以上が農業従事者のこの国では、雨期になると子どもを学校に行かせずに畑仕事を手伝わせる家庭もあります。国民の約 4 分の 1 が小学生であるマラウイでは、子どもたちが重要な働き手となっています。



↑ 通学路の一部

### 【贈呈した教師研修センターの紹介】

今回寄贈していただいたリコーダーは、私の配属先であるンジェワ教師研修センターに贈呈させていただきました。ンジェワ教師研修センターは、同地区モデル校のンジェワ小

学校に併設されており、ンジェワ地区にある公立の小学校（8年制）11校と中高等学校（4年生）2校を統括しています。地区内の小学校全体で、18,100名の児童と322名の教師が在籍しています（2017年1月末現在）。

今回同地区に10台の鍵盤ハーモニカを寄贈していただきました。しかし、地区内に小学校が11校あるため、どのように配布するかを現在話し合っているところです。2、3校選んでクラブ活動として児童と教師両方に集中的に教えるのはどうかという案が一番有力ですが、一人でも多くの子どもに楽器に触れてもらうために10校に配るという案もあります。



↑ 配属先の教師研修センター



↑ 同僚へ鍵盤ハーモニカ寄贈

前回いただいたソプラノリコーダーは授業で使っています。一クラスの児童数が多いので一人一本使用するというわけにはいきませんが（多いクラスでは約200人）、みんなで貸し借りしながら楽しそうに吹いています。放課後「リコーダーを貸してほしい」と私の家を訪ねてくる子がいるくらいです。マラウイの子どもたちは少し不器用で、日本の子どもみたいに指を柔軟に動かすことに慣れていません。しかし、息を吹き込んで音を出すのが楽しいみたいで、一生懸命練習しています。

今回いただいた鍵盤ハーモニカも、同僚と話し合っ一日でも早く学校で使用できるように努めます。本当にありがとうございました。

《報告者》  
青年海外協力隊  
平成27年度2次隊派遣  
青少年活動（マラウイ）  
永井 美郷